

ガソリンスタンドにコインランドリーを併設することで、住民の快適な暮らしをサポートする。みんなが集まる「街のクリーニングステーション」を目指す

事業計画名 新タイプのコインランドリーによる「街のクリーニングステーション」の開発

山本石油サービス

事業概要

“お届け、お知らせ、お預かり” サービスのコインランドリー事業を開発し多角化することで、既存事業のガソリンスタンドとのシナジー発揮を行い、労働稼働率を向上する。

山本石油サービス

代表：山本次保
〒311-2215 鹿嶋市和686-1
TEL.0299-69-0168 FAX.0299-69-0168
従業員数：4人

1965年創業のガソリンスタンド。ガソリン販売、自動車の整備や洗車のほか、プロパンガスの販売及びガス管敷設事業を手がける。既存事業に加え、地域に不足しているコインランドリー事業を始める。



事業の具体的内容及び効果

敷地内にコインランドリー用に組み立て式のプレハブを建て、本補助事業を活用して、洗濯乾燥機2台、乾燥機4台、洗濯機1台を購入し設置した。ガソリンスタンドとコインランドリーという「洗う」ことを目的にした施設が1カ所にできたことにより、「街のクリーニングステーション」として住民の利用増加を見込んで2018年2月にスタートした。

利用者は予想通り近隣の子育て中の主婦が多く、さらに今までコインランドリーを利用したことのなかった高齢者からも、「近くにできて便利」と好評を得ている。今まで雨の日は洗車の台数が少なく売り上げに響いていたが、コインランドリーオープン後は、雨の日は逆にランドリー利用が増えるため売り上げアップになっている。

コインランドリーを利用している間に、自動車の給油や整備・点検、洗車を希望する客も増えている。目的であった自動車と衣服の総合的なクリーニングを提供したいという思いが形になりつつあるといえる。



コインランドリーのガラス張りで開放的な空間が、利用者に好評である

取り組みの経緯

1965年に、現在の場所にガソリンスタンド事業を開始した。県道186号線に面し、店舗裏手には住宅地を抱え、利用者は隣接する住宅地の住民が中心で、法人客は4割程度である。

15年前には現在の店舗にリニューアルしたが、このところの原料価格下落により、売り上げ高の推移が低下傾向である。さらに、自動車の燃費向上及びハイブリッド化に伴い、ガソリン販売量が減少、それを補うため、車の整備や洗車で利益をカバーしていた。ここ数年、今後予想されるガソリン売上高減少に対応すべく、新たな収入源を模索していた。

そこで、店舗がある場所から半径5キロ圏内にコインランドリーはなく、以前からガソリンスタンドの利用客から「近くにコインランドリーがあれば助かる」という話を耳にしていたことから、コインランドリー事業に着目した。

事業成果の活用・今後の取り組み

「“街のクリーニングステーション” イコール “住民が気軽に集まれる場所” として活用してほしい」と語る、3代目の山本主税さんは、コインランドリーを設置するにあたって、室内にカフェスペースとキッズスペースを設けた。洗濯が仕上がるまでの間、お茶を楽しんだり、小さな子供が飽きずに過ごせるよう配慮している。

今後はクリーニング技術を有するスタッフを常駐させ、クリーニングアドバイザーとして汚れ落としの方法などのアドバイスを行なっていく予定である。さらには、持参した洗濯物を預かり洗濯の代行や、仕上がった洗濯物を届ける「お届けサービス」、利用者がコインランドリーをセットし外出した場合の「仕上がりお知らせサービス」など、新サービスにも取り組んでいきたい。

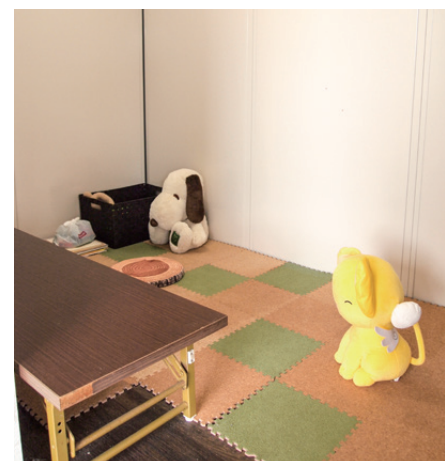
これからも利用客の声に耳を傾け、今後は要望の多い、運動靴を洗う靴専用洗濯乾燥機の導入を予定している。



購入した洗濯機、洗濯乾燥機、乾燥機



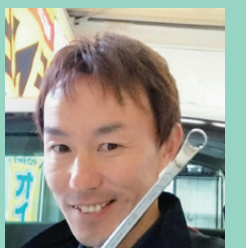
利用者が洗濯が仕上がるまでの時間を有意義に過ごせるように、室内にカフェスペースも設置している



室内には小さな子供も飽きずに過ごすことができるよう、キッズスペースも完備

山本 主税さん

山本石油サービス
マネジャー



コインランドリーという新たな取り組みを始め、車と衣服の「洗う」というを2つの分野の「街のクリーニングステーション」としてより地域に貢献していきたいと考えております。地域の住民とのコミュニケーションを大切に、みなさんの暮らしがさらに快適になるようお手伝いしていきたいです。